

教育研究業績書

所属	職名	氏名			
幼児教育学科	准教授	安村由希子			
I 教育活動					
教育実践上の主な業績		年月日	概要		
(1)教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) (1) 保育園や児童養護施設にて、絵本の読み聞かせ、パネルシアター、ペープサート、素話の実践		平成23年9月9日 平成24年6月15日 平成27年2月8日	埼玉純真短期大学、こども学科、「保育内容応用指導法」にて、児童文化財である絵本の読み聞かせやパネルシアター、ペープサート、素話などを子どもたちの前で実演する機会を設けた。パネルシアターやペープサートは学生が自作し、素話は書籍「お話のろうそく」より学生が一人一作品を自分で選択し暗記した。		
(2) 子どもの言葉の評価		平成26年度	埼玉純真短期大学、こども学科、「教職実践演習」にて、履修者の学生が5歳児の言葉の評価を行った。対象は行田市にある私立保育園と公立の保育園である。5歳児約60名に対し、絵画語彙発達検査、言葉の類推、LCスケールより言語の項目を選んで行った。		
(2) 作成した教科書・教材・参考書 作成した教科書「保育内容『言葉』指導法」		平成30年3月31日	この章では、乳幼児期の言葉遊びについて述べている。0～2歳児では体を使ったリズムカルな音遊びや、しりとり電車やしりとり鬼ごっこ、積み木を使った音遊びなどがあり、保育の中で気軽に実践できる方法を例示している。また、領域「言葉」に書かれているねらい及び内容をどのように保育の中で達成していくか、事例とともに示している。 5章「書き言葉の発達と保育」担当。 (馬見塚昭久、小倉直子、花岡清美、宮川萬寿美、安村由希子、三浦正雄、杉崎雅子、望月たけ美)、pp.86-100		
(3) 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
(4) その他教育活動上特記すべき事項 発達障害についての講演 ① 特別支援教育研修会(古河第二高校) ② 文部科学省委託事業「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」(埼玉純真短期大学) ③ 人権問題リーダー研修会(加須市役所)		平成20年10月15日 平成21年8月20日 平成23年6月7日	発達障害は主に3タイプあり、学習障害、ADHD、自閉症スペクトラム障害に分けられる。学習障害は学習面に問題が、ADHDと自閉症スペクトラム障害は行動面に問題があり、それぞれ学校現場で大きな問題となっている。ADHDや自閉症スペクトラム障害は周りの対応や環境整備によって、症状が落ち着くことも多いため、教師や友人の理解と支援が必要と言える。また、学習障害についても、幼児期から主に言語面に躓きを見せるため、保育現場の中で保育者が早めに気づいて専門機関を勧めることが必要である。		
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻、号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
(著書)					

保育内容「言葉」指導法	共著	平成30年3月	ミネルヴァ書房	編者：◎馬見塚昭久、小倉直子 分担執筆：花岡清美、宮川萬寿美、安村由希子、三浦正雄、杉崎雅子、望月たけ美、馬見塚昭久、小倉直子	pp.86-100
(論文)					
かなの習得に躓きを示す幼児の聴覚処理能力について	単著	平成22年1月	日本発達障害支援システム学研究、第9巻、第1号・2号合併号		pp.25-30
読み書き障害児に対するトップダウン式指導法の効果について	共著	平成22年8月	日本コミュニケーション障害学27巻2号	浦由希子、遠藤重典、田中裕美子 ※浦由希子は旧姓	pp.87-94
幼稚園教育要領領域「言葉」のねらいと内容—言葉遊びに着目して—	単著	平成30年3月	次世代育成研究見やらい、第15巻、尚綱子育て研究センター		pp.25-35
(その他)					
Ⅲ 学会等及び社会における主な活動					
平成24年4月	文部科学省科学研究助成金若手研究(B)の取得(平成26年3月まで)				